

➤ 研究（調査）の目的と概略

降下性壊死性縦隔炎は、齧歯や口腔内感染症や咽頭膿瘍などの深頸部の感染症が縦隔へ進展する重篤かつ難治性の感染症で、致死率の高い疾患です。それゆえにその診断と治療には緊急を要する疾患です。本研究では、本邦における降下性壊死性縦隔炎を起こした患者さんに関して、その病態、診断、治療、予後などの調査を行うことにより、本疾患の診療の進歩を図ることが目的です。

➤ 研究（調査）の方法

診療録や検査レポートから本研究に必要な臨床データを抽出し、個人が特定できないように匿名化してデータセンターに登録します。

匿名化された登録情報を用いてデータベースを作成し、治療方法や治療成績を評価し、本疾患における発生原因、治療効果予測因子や予後予測因子を解析します。そのうえで、標準治療の確立のための基礎データを作り上げます。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定施設(全国の大学医学部附属病院および地域の病院)

➤ 調査対象の期間（～全研究期間）

2012年 1月 1日 ～ 2016年 12月 31日（～ 2018年12月31日）

➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、上記期間に、この病気の治療を受けられた患者さんを対象とします。個々の診療データは、個人が特定できないよう加工(匿名化)され研究責任者へ送られますので、個人情報保護されています。また、患者さんに負担をかけたり、不利益となることはありません。

➤ この調査への協力は任意です。

この研究に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。研究への協力に同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。また、一度は同意された後でも、いつでも同意を撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。データの使用をお断りになる場合には、治療を受けられた施設にご連絡下さい。本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者：杉尾賢二（大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座）